

ミニディスクロージャー誌

平成20年**3**月期・営業の中間ご報告

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka

Hokuhoku Financial Group, Inc.

MINI DISCLOSURE



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

地域とあなたのために、 もっと。



広域ネットワークを活かし、地域のお客さまの利便性を
さらに向上させる体制づくりや
お客さまの声をしっかり捉えた質の高い金融サービスで、
地域とお客さまのための「もっと」を
実現させてまいります。



 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

 北陸銀行

 北海道銀行

CONTENTS



取締役社長(北陸銀行 頭取)

高木 繁雄

取締役副社長(北海道銀行 頭取)

堰八 義博

ごあいさつ

皆さまには、平素より当社をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

このたび、ほくほくフィナンシャルグループの「ミニディスクロージャー誌(平成20年3月期・営業の中間ご報告)」を作成いたしました。本誌では、平成19年度中間期の業績を中心に、地域貢献への取り組み状況等をご紹介します。ぜひご一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

国内経済は、企業収益が高水準で推移し、設備投資や輸出が堅調に推移するなど、企業部門の好調により緩やかな拡大の動きを続けております。また、金融業界においては、郵政の民営化、政府系金融機関の民営化や規制緩和の進展等、金融機関相互の競争は一段と激化しております。

このような環境の中、当社グループでは横浜銀行とのシステム共同開発を進める他、地銀7行連携による「地域金融マーケティング研究会」の設立、ATM相互無料開放の拡充など他行との連携を深め、地方銀行ならではの真にお客さまのニーズに合った新商品・新サービスの提供に取り組んでおります。

また、8月には公的資金を一部返済いたしました。この間にお客さまや株主の皆さまのご理解とご支援をいただけたことに厚く御礼申し上げます。

今後ともさらなる経営努力を続け、経営理念であります「地域共栄」の精神で地域のお客さまとともに発展し、公的資金の早期返済をめざしてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

ごあいさつ	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
地域とのかかわり	08
■ 地域とともに(北陸銀行)	
貸出金の状況	09
預金等の状況	10
地域経済活性化のために	11
トピックス	12
■ 地域とともに(北海道銀行)	
貸出金の状況	13
預金等の状況	14
地域経済活性化のために	15
トピックス	16
■ 財務諸表(ほくほくフィナンシャルグループ単体)	
貸借対照表	17
損益計算書	17
株主資本等変動計算書	17
■ 財務諸表(ほくほくフィナンシャルグループ連結)	
連結貸借対照表	18
連結損益計算書	18
連結株主資本等変動計算書	18
■ 財務諸表(北陸銀行単体)	
貸借対照表	19
損益計算書	19
株主資本等変動計算書	19
■ 財務諸表(北海道銀行単体)	
貸借対照表	20
損益計算書	20
株主資本等変動計算書	20
■ 株式の状況/経営理念	
株式の状況	21
経営理念・ホームページのご案内	22

当社における当中間期の業績につきましては、連結経常収益は1,257億円、連結経常利益は327億円、連結中間純利益は164億円となりました。連結自己資本比率は9.97%となりました。

■ ほくほくフィナンシャルグループ(連結) 経営指標

(単位:百万円)

	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期	平成19年9月期
連結経常収益	81,907	121,149	117,549	125,723
連結経常利益	12,763	10,932	28,228	32,750
連結中間純利益	4,918	5,833	15,135	16,464
連結純資産額	364,696	382,959	416,352	449,034
連結総資産額	8,991,121	9,429,623	9,450,217	9,531,724
1株当たり純資産額	147.30円	161.49円	187.05円	221.76円
1株当たり中間純利益	3.16円	3.25円	10.49円	10.85円
潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	2.62円	2.85円	8.73円	9.93円
連結自己資本比率 (第二基準)	8.00%	8.78%	9.23%	9.97%

営業の概況(2行合算+分割子会社)

■ 預貸金

預金につきましては、個人預金の増加を主に、前中間期末比1,563億円増加し、8兆4,390億円となりました。

貸出金につきましても、住宅系ローンを中心に個人ローンが順調に推移し、前中間期末比1,950億円増加し、6兆8,950億円となりました。

■ 損益状況

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、投資信託手数料を中心に役務取引等利益が増加したものの、預金金利の上昇が先行していることから資金利益が減少し、経費が増加したことから、前中間期比9億円減少し、454億円となりました。

不良債権処理額は、企業業績の回復基調を受け、大型倒産や不良債権の新規発生が減少したこと、さらには、お取引先の経営改善が進み債務者区分が上昇したこと等により、前中間期比39億円減少し128億円となりました。

この結果、経常利益は前中間期比33億円増加し320億円、中間純利益は前中間期比3億円増加し162億円となりました。

■ 配当政策

当社は、銀行等グループ企業の事業の公共性に鑑み、業績を勘案しつつ、公的資金の返済を展望し、経営体質の改善・強化のため内部留保の蓄積にも意を用い、安定的な配当を行うことを基本方針としております。本年8月に公的資金を一部返済しましたが、早期完済を目指し内部留保の充実に努めてまいります。

配当につきましては、平成18年度決算公表時にお示しいたしましたとおり、普通株式につきましては、中間配当は見送りとさせていただきます、期末配当は昨年より50銭増配し、1株当り2円50銭を予定しております。第1回第1種優先株式は1株当り3円85銭、第1回第4種優先株式は1株当り3円31銭、第1回第5種優先株式は1株当り7円50銭とさせていただきます。

(単位:億円)

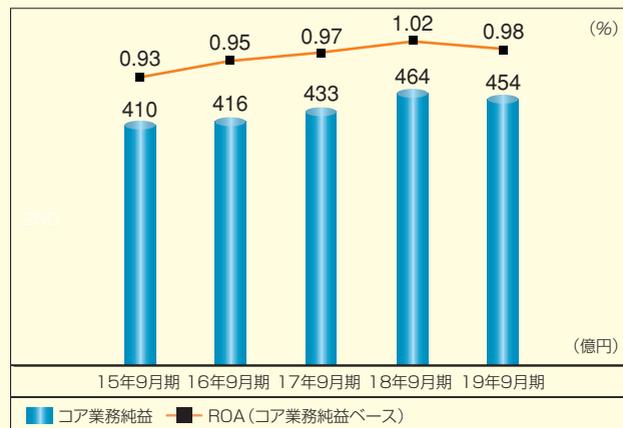
■経営指標の推移

	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期	19年9月期
コア業務粗利益	857	866	881	904	904
コア業務純益	410	416	433	464	454
経常利益	58	184	125	286	320
中間純利益	58	75	73	158	162

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益等

※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

■コア業務純益の推移



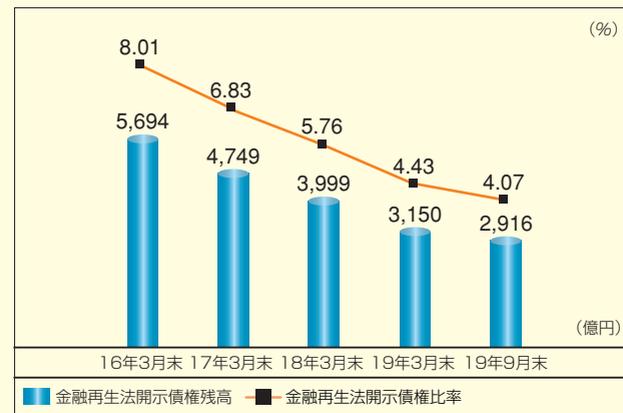
$$\text{※ROA (コア業務純益ベース)} = \frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$$

■経費の推移



$$\text{※OHR (コア業務粗利益ベース)} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$$

■不良債権の状況



■自己資本比率の推移 (FG連結)



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルII)を適用しております。
平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

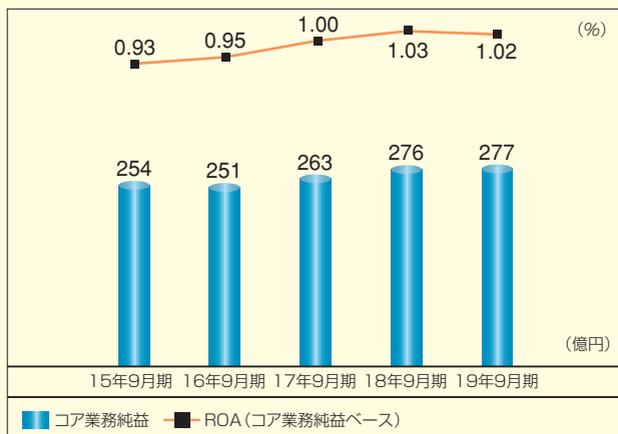
(単位:億円)

■経営指標の推移

	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期	19年9月期
コア業務粗利益	516	511	519	530	533
コア業務純益	254	251	263	276	277
経常利益	36	101	59	161	189
中間純利益	26	30	39	85	92

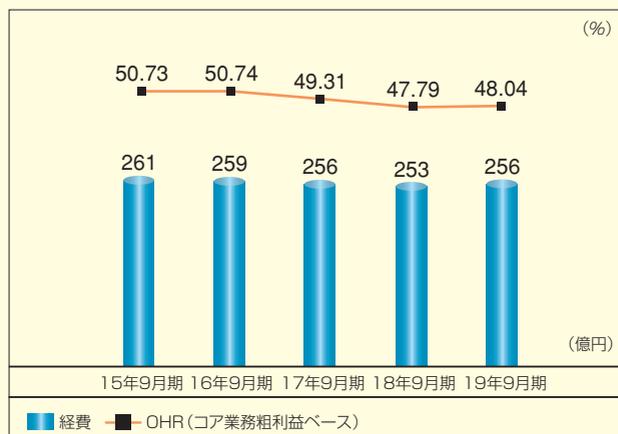
※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益等
 ※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

■コア業務純益の推移



※ROA(コア業務純益ベース) = $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$

■経費の推移



※OHR(コア業務粗利益ベース) = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

■不良債権の状況



■自己資本比率の推移



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルII)を適用しております。
 平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

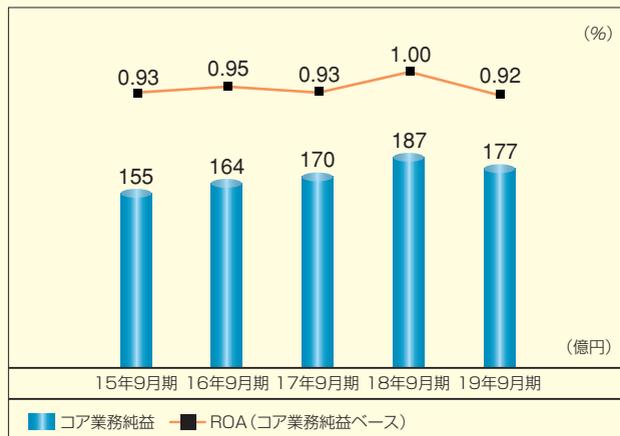
(単位: 億円)

■経営指標の推移

	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期	19年9月期
コア業務粗利益	341	354	361	373	370
コア業務純益	155	164	170	187	177
経常利益	22	82	66	125	130
中間純利益	32	45	33	73	69

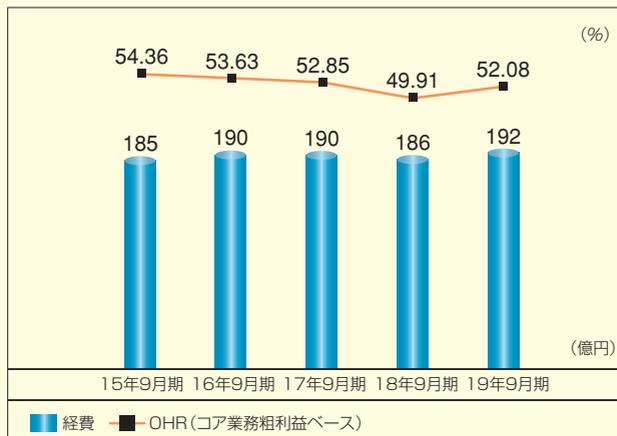
※コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 国債等債券関係損益等
 ※コア業務純益 = コア業務粗利益 - 経費

■コア業務純益の推移



※ROA (コア業務純益ベース) = $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$

■経費の推移

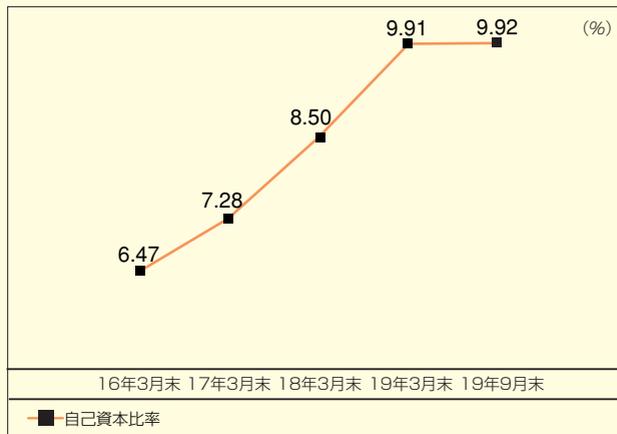


※OHR (コア業務粗利益ベース) = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

■不良債権の状況



■自己資本比率の推移



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルII)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

銀行持株会社


**Hokuhoku
Financial
Group, Inc.**

- **名 称** 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
- **本店所在地** 富山市堤町通り1丁目2番26号
- **業務の内容** 1.傘下子会社の経営管理
2.上記経営管理業務に付帯または関連する業務

- **資 本 金** 708億9,500万円
- **発行済株式**

普通株式	1,391,630,146株
第1回第1種優先株式	80,000,000株
第1回第4種優先株式	79,000,000株
第1回第5種優先株式	107,432,000株

●取締役・監査役の役職および氏名

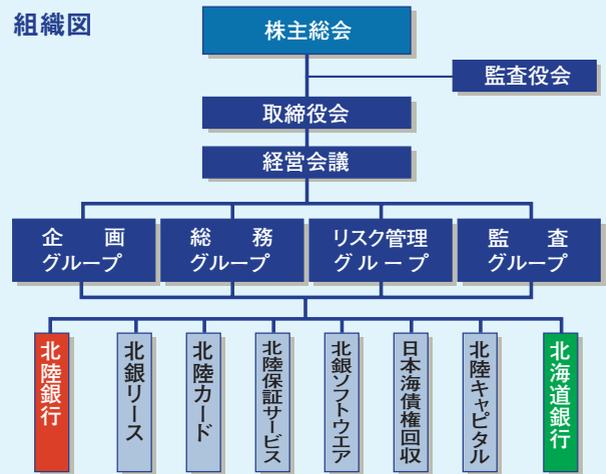
役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
取締役社長	高木 繁雄	取締役	相馬 彰彦
取締役副社長	堰八 義博	取締役	大島 雄次
取 締 役	川合 哲	監 査 役	河上 敏嗣
取 締 役	近藤 政道	監 査 役	南 義弘
取 締 役	羽岡 秀晃	監 査 役	石黒 靖尋
取 締 役	徳野 光宏	監 査 役	林 則清

- **従業員の数** 専任者13名、兼務者41名、計54名

- **設 立 日** 平成15年9月26日

●組織の構成および役割等

- 取締役会** グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。
- 監査役会** 監査の方針、監査役の職務の執行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行を監査します。
- 経営会議** 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

組織図

グループ各社の内容

- (株)北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、
(株)北海道銀行 総合金融サービスの提供を行っております。
- 北銀リース(株) リース業務、代金回収業務などを行っております。
- (株)北陸カード JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン等の信用保証業務などを行っております。
- 北陸保証サービス(株) 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。
- 北銀ソフトウェア(株) コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。
- 日本海債権回収(株) グループ全体の不良債権の早期処理および地域の企業再生支援機能の強化を担っております。
- 北陸キャピタル(株) 株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。

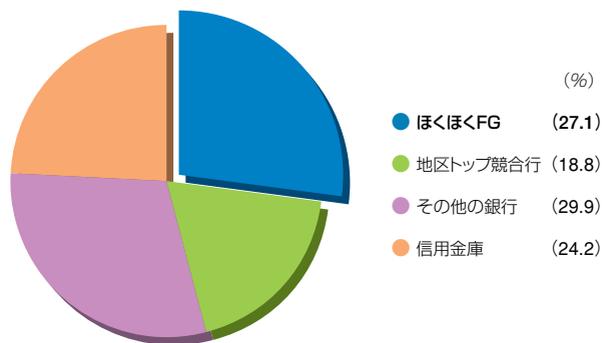
ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

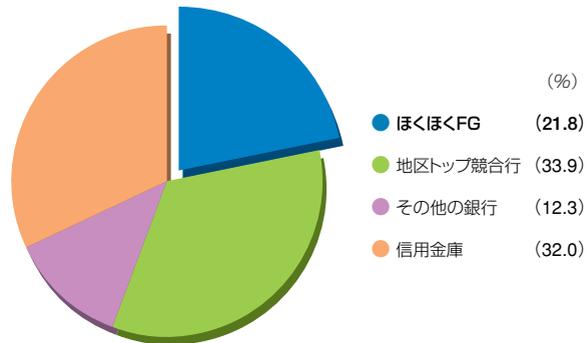
北陸3県	147ヵ店	3大都市	17ヵ店
富山県	90ヵ店	東京・神奈川	10ヵ店
石川県	35ヵ店	近畿・名古屋	7ヵ店
福井県	22ヵ店		
北海道	152ヵ店		
その他	4ヵ店		



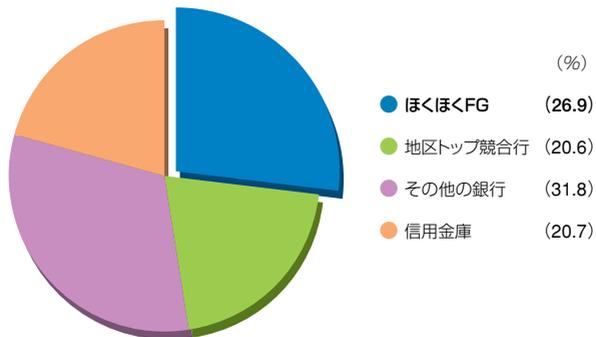
■ 北陸三県内預金シェア (銀行+信用金庫)



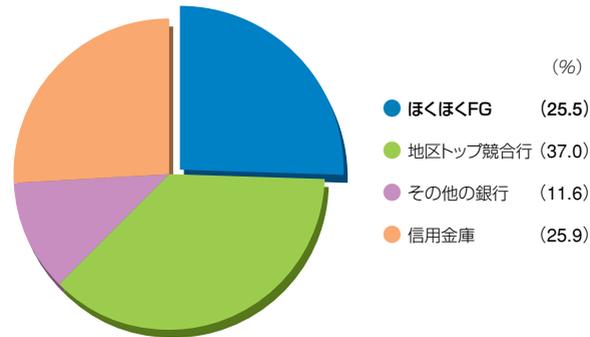
■ 北海道内預金シェア (銀行+信用金庫)



■ 北陸三県内貸出金シェア (銀行+信用金庫)



■ 北海道内貸出金シェア (銀行+信用金庫)



※平成19年3月末現在
 ※財務省 北陸財務局「北陸地域主要経済指標」、北海道財務局「北海道主要経済指標」より当社にて作成
 ※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値

貸出金の状況

(注)「地域」とは、北陸銀行の主要営業基盤地域である北陸三県(富山、石川、福井)および北海道を指します。

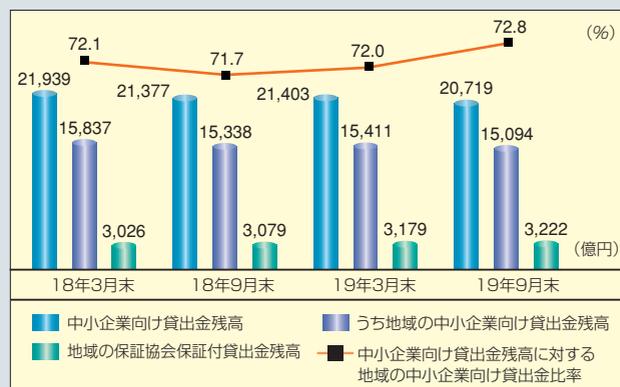
■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は3兆168億円と前年同期とほぼ同水準の残高であり、地域向け貸出金比率も70.4%と引き続き70%以上となっております。



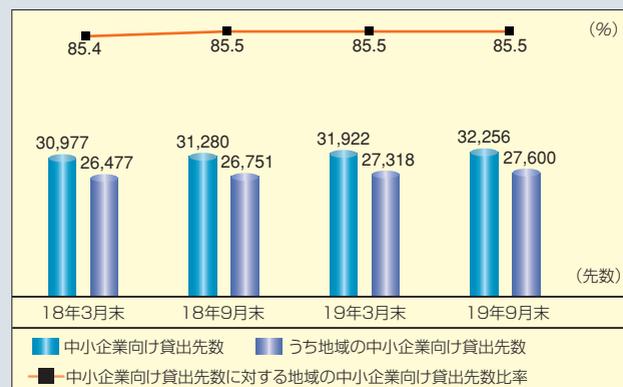
■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は2兆719億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆5,094億円と中小企業向け貸出金の72.8%を占めております。

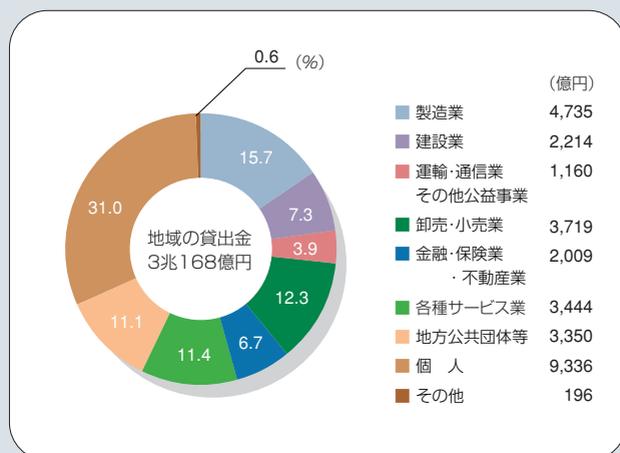


■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は32,256先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は27,600先と85.5%を占めております。



■ 地域の業種別貸出残高(平成19年9月末)



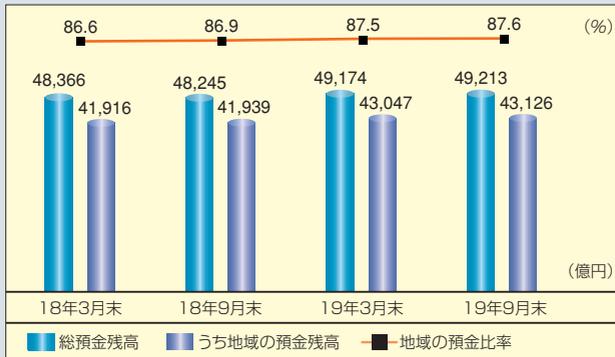
(注1) 分割子会社の計数を含んでおります。

(注2) 流動化した住宅ローンを含めた計数で記載しております。

預金等の状況

■ 地域の預金の状況

総預金は4兆9,213億円、うち4兆3,126億円が地域の預金で、総預金の87.6%を占めております。



■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は25万1千先、給与振込は48万2千先、公共料金の自動口座振替は114万9千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



■ 投資型金融商品の状況

商品ラインナップの充実および販売体制の整備に努めた結果、19年9月末の個人のお客さまに対する投資型金融商品の合計残高は6,173億円となっております。



●お客さまのご要望にお応えできる「資産運用セミナー」開催

北陸銀行では、お客さまのさまざまな資産運用ニーズにお応えする幅広い商品ラインアップを充実させるとともに、お客さまの運用資産や投資方針に応じ、商品説明を丁寧に行っております。また、お客さまのご要望に的確にお応えできるようファイナンシャルプランナー資格者を営業店へ配置するとともに、各地で「資産運用セミナー」を開催しております。



資産運用セミナー風景(ドリームセンター武蔵)

地域経済活性化のために

北陸銀行では、地域と共に歩む金融機関として北陸経済の活性化に積極的に取り組んでおります。

◎ビジネスマッチング取組強化

【食のサミット in 金沢】～プロとプロが集う食の商談会～

9月21日、業務提携している大垣共立銀行と共催し「食のサミット in 金沢」を開催いたしました。商談会には、北陸・東海地方に首都圏も加わって158社・団体が出展し、地方都市では国内最大級となりました。また、来場者は5,000人を超え、商談件数は約2,500件と、過去最高の盛況となりました。来年の東海北陸自動車道の全線開通に伴う商圏拡大に北陸・東海の経済界の期待は大きく、今後とも両地方のビジネス活性化に向け商談会の共催を継続してまいります。



◎「ハートふる店舗」の構築

北陸銀行では、高齢者、体の不自由なお客さまに対する優しい店作り、接遇の実現に向けて、「ハートふる店舗」の構築に積極的に取り組んでおります。

駐車場スペースの拡大、車椅子用のスロープや高齢者向けの手すりの設置などのバリアフリー化を促進するとともに、全店舗に「耳マーク表示板」を設置し、聴覚障害のある方が気軽に利用できる優しい窓口づくりや介助などの専門的な技能を有するサービスケアアテンダントの育成に努めております（19年10月末時点 有資格者60名）。今後も、率先したユニバーサルサービスの実践を通じ、地域全体にも取り組みが広まるよう努めてまいります。

◎金融教育・経営ノウハウ提供への積極的な取り組み

これからの地域を担う若い世代への金融知識の普及を目指し、平成19年度も引き続き金融教育の拡充を図っております。

小・中学生向けの講座として、本年度は営業店長等50名の講師派遣を予定しております。また、MBAやCFPの資格を保有している行員23名を講師とする、富山大学経済学部寄附講座や金沢大学経済学部での共同授業を実施している他、富山大学と共同で教科書を出版し、より実践的な企業財務分析手法を紹介しております。

一方、次世代を担う経営者の皆さまを対象に、財務管理に関する



ノウハウを解説する「ほくぎんマネジメントスクール・次世代経営者養成講座」を北陸三県・北海道で順次開催中であります。



TOPICS 北陸銀行

19年 4月～8月 創業130周年感謝のつどいを
7営業地区で開催

これまで北陸銀行を支えていただいた地域のお取引先に感謝を込めて、「創業130周年感謝のつどい」を開催し、4月の石川地区を皮切りに8月の富山地区まで7営業地区で約4,000名のお取引先の皆さまにご参加いただきました。



19年 8月 金沢金融歴史資料館を開設

北陸銀行のルーツは、金沢第十二国立銀行であることから、創業130周年を記念して、創業の地である金沢支店ロビーに「金沢金融歴史資料館」をオープンしました。入場は無料で、ご来店されるお客さまには、地域の歴史を振り返る機会となり、お子さまにとっても格好の金融教育の場になるものと期待しております。



19年 9月 勝山支店がリニューアルオープン

勝山支店は、大正9年2月に第九十一銀行勝山支店として営業を開始、その後十二銀行勝山支店を経て、昭和18年に北陸銀行勝山支店となっております。北陸銀行では、地元活性化・PRを応援する活動の一環として、「勝山市歴史的まちなみ景観創出事業」へ参加し、勝山支店を大正時代の町屋風に改装しました。



19年 9月 インドステイト銀行と業務提携

北陸銀行はインド最大の商業銀行であるインドステイト銀行と業務提携をいたしました。インドでは、大手自動車メーカー等日系企業進出の動きが本格化しており、地元企業の進出や貿易額の拡大が見込まれております。今後、お取引先がインドに進出される場合に現地での各種銀行取引についてサポートできる態勢を構築いたしました。



19年 10月 福邦銀行とATM相互無料開放を開始

10月1日から福邦銀行とのATM相互無料開放を実施しました。いしかわ信金、のと共栄信金、高山信金の地元信用金庫の他、北海道銀行、横浜銀行、大垣共立銀行などとATM相互無料開放を進め、お客さまの利便性の向上を図っております。コンビニATMを含めると全国約15,000カ所でATMがご利用になります。

貸出金の状況

(注)「地域」とは、北海道銀行の主要営業基盤地域である北海道を指します。

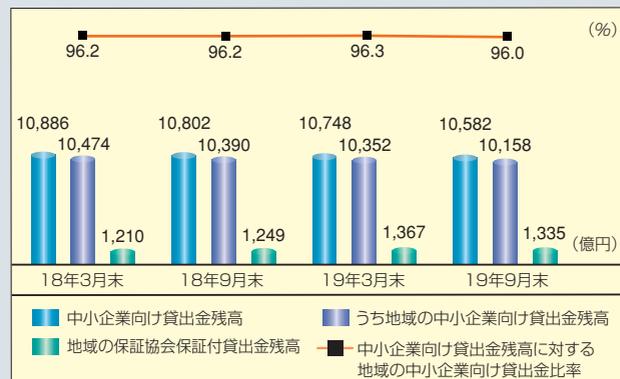
■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち地域向け貸出金は、前年同期を上回り、2兆5,193億円となりました。地域向け貸出金比率は93.2%と引き続き高い水準となっております。



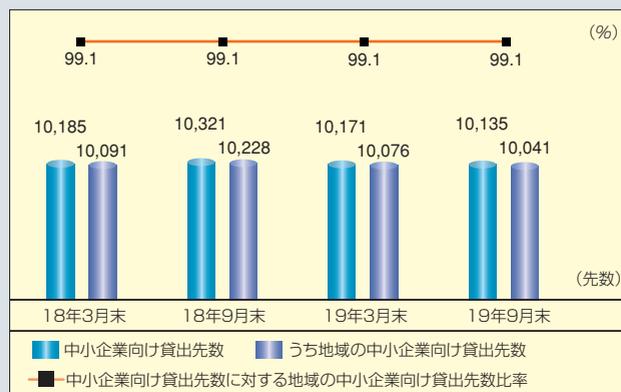
■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆582億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆158億円と中小企業向け貸出金の96.0%を占めております。

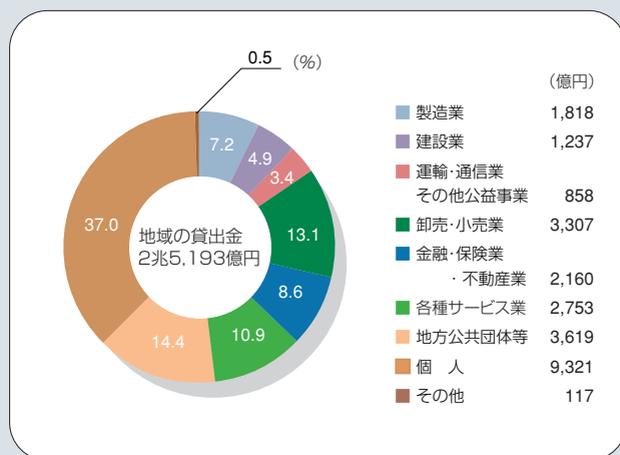


■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は10,135先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は10,041先と99.1%を占めております。



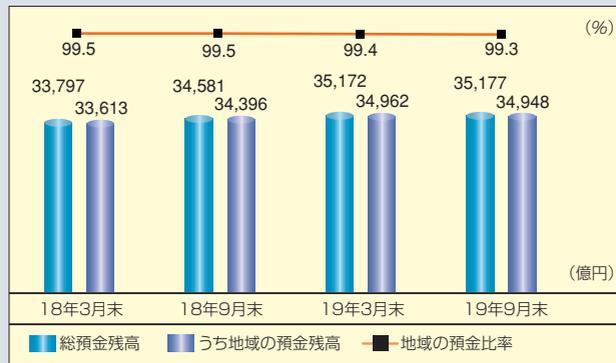
■ 地域の業種別貸出残高 (平成19年9月末)



預金等の状況

■ 地域の預金の状況

総預金は3兆5,177億円となりました。そのうち3兆4,948億円が地域の預金で、総預金の99.3%を占めています



■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は21万先、給与振込は58万1千先、公共料金の自動口座振替は97万6千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



■ 投資型金融商品の状況

個人のお客さまに対する投資型金融商品の残高は、平成19年9月末で3,100億円を突破いたしました。このうち投資信託は、前年同期比約500億円増加し2,064億円となりました。



● 個人向け資産運用セミナー

北海道銀行では、お客さまの幅広いニーズにお応えするため、資産運用に関する特色あるセミナーを開催しております。

19年7月には、(株)JTB北海道が主催する豪華客船『飛鳥Ⅱ』による世界一周クルーズの船内説明会ご参加の方々を対象に、『あなたとお金の海外旅行』と題する資産運用セミナーを開催いたしました。また8月には、日中は仕事がある

ため資産運用の相談ができないというお客さまを対象に、仕事帰りに気軽に立ち寄れる金融スクール「道銀アカデミックカフェ」を初めて開催いたしました。



道銀アカデミックカフェの様子

地域経済活性化のために

北海道銀行では、地元企業の皆さまの「本業」を支援することを通じ、北海道経済の活性化に積極的に取り組んでおります。

◎ビジネスマッチングへの取り組み

【北海道の『食』特別商談会】

9月10日、第4回「北海道の『食』特別商談会」を開催いたしました。本商談会は、道内の食品・飲料メーカーの販路拡大を支援するため平成17年度から開催しているもので、今回は初めて北海道との共催となりました。当日は、北陸銀行のお取引先を含む食品・飲料メーカー45社が出展され、高橋はるみ北海道知事をはじめ、全国のスーパーマーケット、百貨店、通信販売、外食チェーン等の経営者・バイヤー約220名が熱心に各ブースを回られ活発な質疑応答がなされました。また、同時に実施した「個別商談会」では376件もの商談が行なわれました。

【北海道ビジネスフォーラム・交流会】

11月5日、札幌市、日経BP社との共催で、『「すべてのチカラ」 結集宣言～ビジネスをあなたとともに創造する大地、北海道～』をテーマに「北海道ビジネスフォーラム2007」を開催いたしました。基調講演では「あきらめない!液晶ディスプレイにかけた技術者の執念」をテーマに、工学博士で元シャープ中央研究所副所長の和田富夫氏にご講演をいただいたほか、3つのテーマによる講演・セミナーを開催し、のべ700名が来場されました。同時開催の「第9回北海道ビジネス交流会」には北陸銀行のお取引先5社を含む74社が出展、約1,000名が参加され、大変活気に満ちた交流会となりました。フォー



の共催となりました。当日は、北陸銀行のお取引先を含む食品・飲料メーカー45社が出展され、高橋はるみ北海道知事をはじめ、全国のスーパーマーケット、百貨店、通信販売、外食チェーン等の



ラム開催前に北海道銀行と北陸銀行のネットワークを活用して出展企業のニーズに合った企業との面談の機会をご用意し、当日は412件の商談が行なわれました。

◎「食」の製造現場支援



【「食の安全」実践セミナー】

北海道の大切なブランドである「食」。平成19年は、全国的に「食」の安全・安心への関心が大変高まった年となりました。北海道銀行では、北海道との共催により、今後必要な対策等の実践的な情報提供を目的とし、平成19年10月、札幌市をはじめ道内6都市において、『「食の安全」実践セミナー』を開催いたしました。セミナーには、道内食品製造・加工業の経営者、工場長等、211社、338名もの方々が参加され、講師の方々のお話を大変熱心にお聞きいただきました。

◎北海道洞爺湖サミット支援

2008年7月、地球環境問題を大きなテーマとする主要国首脳会議（「北海道洞爺湖サミット」）が開催されます。北海道銀行は、この地球の確かな未来を切り開くサミットの成功を切に願い、投資信託「環境ファンド」の販売手数料の一部を寄付する等の支援を行なってまいります。



TOPICS

北海道銀行

19年 5月 仙台支店が移転開店、荘内銀行とのATM相互無料開放開始

仙台支店は、昭和44年8月の開店以来、宮城県の皆さまに親しまれてまいりました。平成5年6月より仙台駅東側の宮城野区榴岡にて営業しておりましたが、仙台駅西側、荘銀ビル6階に移転、5月28日より新店舗での営業を開始いたしました。また、同日より、荘内銀行とのATM相互無料開放を開始しております。これにより、北陸銀行、横浜銀行を含め、全国1,539箇所のATMが他行利用手数料無料でご利用いただけることとなりました。今後とも、お客さまの利便性の向上を図ってまいります。



19年 6月 住宅ローンプラザ「感謝のつどい」を開催

北海道銀行では、「8疾病保障付住宅ローン」の取り扱い等、お客さまのニーズに合った住宅ローン商品の開発に積極的に取り組んで



おります。また、6月21日には日頃お世話になっている住宅関連企業のお取引先に感謝を込めて、住宅ローンプラザ「感謝のつどい」と題し、野球評論家の豊田泰光氏による記念講演会のほか、懇親会を開催し、約200名の方々にご参加いただきました。

19年 9月 斜里支店が新築開店

斜里支店は昭和26年6月に開店以来、斜里町の皆さまに親しま

れてまいりましたが、築後37年が経過し老朽化が進行していたことに加え、道路拡幅事業の実施に伴い、新築、移転し、9月3日より営業を開始いたしました。新店舗では、相談コーナーならびにATMコーナーのスペースを拡げ、さらにATMコーナーの営業時間を1時間延長させていただくなど、地元の皆さまの利便性向上を図っております。

19年 9月 「環境配慮型住宅ローン」の取り扱い範囲拡大

北海道銀行では、9月14日より、エネルギー効率の高い省エネ住宅を建築・購入されるお客さま向けの「環境配慮型住宅ローン」の取り扱い範囲を拡大し、北海道ガス(株)が取り扱いする省エネ高効率給湯器『エコジョーズ』を設置する新築住宅を対象に加えました。また、適用金利の優遇幅を一部拡大する等、省エネ住宅の普及に向け、積極的に取り組んでおります。

19年 11月 法人向けインターネットバンキングのセキュリティ向上

北海道銀行では、法人・個人事業主のお取引先向けインターネットバンキング「道銀ビジネスWEBサービス」について、第三者による



不正利用の防止を目的とした「電子証明書」による本人確認機能を導入いたしました。これにより、セキュリティ向上が実現されるとともに、機能面でも、総合振込や給与振込等の「データ伝送サービス」の追加、入出金明細の取得期間の拡大等、利便性向上を図りました。

貸借対照表(平成19年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	4,326	流動負債	135
現金及び預金	4,281	未払配当金	32
前払費用	3	未払費用	68
未収収益	36	未払法人税等	25
未収入金	0	未払消費税等	6
繰延税金資産	3	預り金	2
固定資産	354,395	その他	0
有形固定資産	2	固定負債	40,019
器具及び備品	2	社債	40,000
無形固定資産	6	その他	19
商標権	1	負債の部合計	40,155
ソフトウェア	4	純資産の部	
投資その他の資産	354,386	資本金	70,895
関係会社株式	314,386	資本剰余金	242,147
関係会社長期貸付金	40,000	資本準備金	162,034
その他	0	その他資本剰余金	80,112
繰延資産	7	利益剰余金	5,942
創立費	7	その他利益剰余金	5,942
		繰越利益剰余金	5,942
		自己株式	△411
		株主資本合計	318,573
資産の部合計	358,729	純資産の部合計	318,573
		負債及び純資産の部合計	358,729

損益計算書(平成19年4月1日～平成19年9月30日)(単位:百万円)

営業収益	365
関係会社受取配当金	3
関係会社受入手数料	361
営業費用	360
販売費及び一般管理費	360
営業利益	4
営業外収益	528
関係会社貸付金利息	520
その他の営業外収益	7
営業外費用	497
社債利息	430
創立費償却	7
事務委託費	59
その他	0
経常利益	35
税引前中間純利益	35
法人税、住民税及び事業税	20
法人税等調整額	1
中間純利益	12

株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成19年3月31日残高	70,895	162,034	120,132	282,167	10,355	10,355	△413	363,004	363,004
中間会計期間中の変動額									
剰余金の配当(注)	—	—	—	—	△4,425	△4,425	—	△4,425	△4,425
中間純利益	—	—	—	—	12	12	—	12	12
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△40,106	△40,106	△40,106
自己株式の処分	—	—	△4	△4	—	—	93	88	88
自己株式の消却	—	—	△40,015	△40,015	—	—	40,015	—	—
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△40,019	△40,019	△4,412	△4,412	2	△44,430	△44,430
平成19年9月30日残高	70,895	162,034	80,112	242,147	5,942	5,942	△411	318,573	318,573

(注)平成19年6月の定時株主総会における決議項目であります。

連結貸借対照表(平成19年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	213,879	預金	8,378,615
コールローン及び買入手形	131,154	譲渡性預金	110,660
買入金銭債権	192,079	コールマネー及び売渡手形	50,000
特定取引資産	9,123	債券貸借取引受入担保金	11,741
金銭の信託	11,385	特定取引負債	901
有価証券	1,644,931	借入金	155,268
貸出金	6,869,071	外国為替	608
外国為替	13,236	社債	67,310
その他資産	149,952	その他負債	112,283
有形固定資産	132,957	退職給付引当金	11,180
無形固定資産	43,061	睡眠預金払戻引当金	2,442
繰延税金資産	67,253	再評価に係る繰延税金負債	9,085
支払承諾見返	172,592	支払承諾	172,592
貸倒引当金	△118,956	負債の部合計	9,082,690
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	253,248
		利益剰余金	105,113
		自己株式	△444
		株主資本合計	428,812
		その他有価証券評価差額金	10,717
		繰延ヘッジ損益	△17
		土地再評価差額金	8,954
		評価・換算差額等合計	19,655
		少数株主持分	566
		純資産の部合計	449,034
資産の部合計	9,531,724	負債及び純資産の部合計	9,531,724

連結損益計算書(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	125,723
資金運用収益	82,362
(うち貸出金利息)	(69,418)
(うち有価証券利息配当金)	(9,993)
役員取引等収益	24,749
特定取引収益	447
その他業務収益	15,576
その他経常収益	2,587
経常費用	92,973
資金調達費用	14,334
(うち預金利息)	(11,121)
役員取引等費用	5,585
その他業務費用	7,494
営業経費	48,430
その他経常費用	17,127
経常利益	32,750
特別利益	88
特別損失	2,840
税金等調整前中間純利益	29,998
法人税、住民税及び事業税	475
法人税等調整額	13,025
少数株主利益	32
中間純利益	16,464

連結株主資本等変動計算書(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	70,895	293,268	93,072	△447	456,788	26,078	△20	8,957	35,016	543	492,348
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当(注)	—	—	△4,425	—	△4,425	—	—	—	—	—	△4,425
中間純利益	—	—	16,464	—	16,464	—	—	—	—	—	16,464
自己株式の取得	—	—	—	△40,106	△40,106	—	—	—	—	—	△40,106
自己株式の処分	—	△4	—	93	88	—	—	—	—	—	88
自己株式の消却	—	△40,015	—	40,015	—	—	—	—	—	—	—
土地再評価差額金の取崩	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	2
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△15,360	2	△2	△15,361	23	△15,338
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△40,019	12,041	2	△27,975	△15,360	2	△2	△15,361	23	△43,314
平成19年9月30日残高	70,895	253,248	105,113	△444	428,812	10,717	△17	8,954	19,655	566	449,034

貸借対照表(平成19年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	128,593	預金	4,921,310
コールローン	51,154	譲渡性預金	52,425
買入金銭債権	192,029	コールマネー	50,000
特定取引資産	5,093	債券貸借取引受入担保金	11,741
金銭の信託	2,432	特定取引負債	907
有価証券	840,084	借入金	178,147
貸出金	4,176,216	外国為替	565
外国為替	8,784	その他負債	54,554
その他資産	61,241	退職給付引当金	253
有形固定資産	64,461	睡眠預金払戻引当金	1,535
無形固定資産	3,608	再評価に係る繰延税金負債	9,085
繰延税金資産	43,708	支払承諾	96,139
支払承諾見返	96,139	負債の部合計	5,376,667
貸倒引当金	△ 59,214	純資産の部	
投資損失引当金	△ 58	資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	62,633
		利益準備金	2,644
		その他利益剰余金	59,988
		繰越利益剰余金	59,988
		株主資本合計	218,041
		その他有価証券評価差額金	10,629
		繰延ヘッジ損益	△17
		土地再評価差額金	8,954
		評価・換算差額等合計	19,566
		純資産の部合計	237,607
資産の部合計	5,614,275	負債及び純資産の部合計	5,614,275

損益計算書(平成19年4月1日~平成19年9月30日)(単位:百万円)

経常収益	66,808
資金運用収益	47,899
(うち貸出金利息)	(40,486)
(うち有価証券利息配当金)	(5,095)
役員取引等収益	13,431
特定取引収益	383
その他業務収益	4,326
その他経常収益	766
経常費用	48,935
資金調達費用	9,502
(うち預金利息)	(6,870)
役員取引等費用	3,272
その他業務費用	0
営業経費	25,506
その他経常費用	10,652
経常利益	17,872
特別利益	37
特別損失	1,960
税引前中間純利益	15,949
法人税、住民税及び事業税	44
法人税等調整額	7,687
中間純利益	8,218

株主資本等変動計算書(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等					純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・ 換算差額等 合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金						利益剰余金 合計	
平成19年3月31日残高	140,409	14,998	14,998	2,644	51,767	54,411	209,820	20,642	△23	8,957	29,577	239,397
中間会計期間中の変動額												
中間純利益	—	—	—	—	8,218	8,218	8,218	—	—	—	—	8,218
土地再評価差額金の取崩	—	—	—	—	2	2	2	—	—	—	—	2
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△10,013	5	△2	△10,010	△10,010
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	8,221	8,221	8,221	△10,013	5	△2	△10,010	△1,789
平成19年9月30日残高	140,409	14,998	14,998	2,644	59,988	62,633	218,041	10,629	△17	8,954	19,566	237,607

貸借対照表(平成19年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	84,354	預金	3,517,727
コールローン	80,000	譲渡性預金	58,234
買入金銭債権	1	借入金	40,000
商品有価証券	4,030	外国為替	42
金銭の信託	8,952	その他負債	29,433
有価証券	858,228	退職給付引当金	10,574
貸出金	2,703,676	睡眠預金払戻引当金	906
外国為替	4,452	支払承諾	30,454
その他資産	68,879	負債の部合計	3,687,373
有形固定資産	26,295	純資産の部	
無形固定資産	2,739	資本金	93,524
繰延税金資産	24,304	資本剰余金	16,795
支払承諾見返	30,454	資本準備金	16,795
貸倒引当金	△ 42,721	利益剰余金	49,890
		利益準備金	2,648
		その他利益剰余金	47,242
		繰越利益剰余金	47,242
		株主資本合計	160,209
		その他有価証券評価差額金	6,064
		評価・換算差額等合計	6,064
		純資産の部合計	166,273
資産の部合計	3,853,647	負債及び純資産の部合計	3,853,647

損益計算書(平成19年4月1日～平成19年9月30日)(単位:百万円)

経常収益	46,650
資金運用収益	34,218
(うち貸出金利息)	(28,641)
(うち有価証券利息配当金)	(4,948)
役員取引等収益	9,388
その他業務収益	2,022
その他経常収益	1,021
経常費用	33,571
資金調達費用	4,948
(うち預金利息)	(4,314)
役員取引等費用	3,119
その他業務費用	145
営業経費	19,600
その他経常費用	5,756
経常利益	13,079
特別利益	28
特別損失	869
税引前中間純利益	12,238
法人税・住民税及び事業税	32
法人税等調整額	5,258
中間純利益	6,947

株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・ 換算差額等 合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金					利益剰余金 合計	
平成19年3月31日残高	93,524	16,795	16,795	2,648	40,294	42,942	153,261	10,732	3	10,735	163,997
中間会計期間中の変動額											
中間純利益	—	—	—	—	6,947	6,947	6,947	—	—	—	6,947
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△4,668	△3	△4,671	△4,671
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	6,947	6,947	6,947	△4,668	△3	△4,671	2,276
平成19年9月30日残高	93,524	16,795	16,795	2,648	47,242	49,890	160,209	6,064	—	6,064	166,273

資本金・株式数・株主数

(平成19年9月末現在)

■ 資本金	70,895,000,000円
■ 発行済株式の総数	1,658,062,146株
普通株式	1,391,630,146株
第1回第1種優先株式	80,000,000株
第1回第4種優先株式	79,000,000株
第1回第5種優先株式	107,432,000株
■ 株主数	
普通株式	55,011名
第1回第1種優先株式	1名
第1回第4種優先株式	1名
第1回第5種優先株式	1,691名

株式のご案内

■ 決算日	毎年3月31日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 1単元の株式数	1,000株
■ 基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
■ 公告掲載新聞	日本経済新聞 富山市において発行する北日本新聞 札幌市において発行する北海道新聞 <small>※決算公告については、当社ホームページ (http://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に開示いたしております。</small>
■ 証券コード	8377
■ 上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所

株式事務取扱場所

- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
- 事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

■ 郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)

- 取次所 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
- みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

※2009年1月の実施に向けて準備作業が進められております「株券の電子化」についてもお問い合わせを承っております。

お知らせ

株式関係の手続きに必要な
各用紙のご請求は、右記にて
24時間受け付けておりますので、
ご利用ください。

◎みずほ信託銀行 TEL: 0120-288-324 (フリーダイヤル)
FAX: 0120-111-032 (フリーダイヤル)

◎専用ホームページ <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>



※“お手続内容”で一部届出用紙の出力ができます。

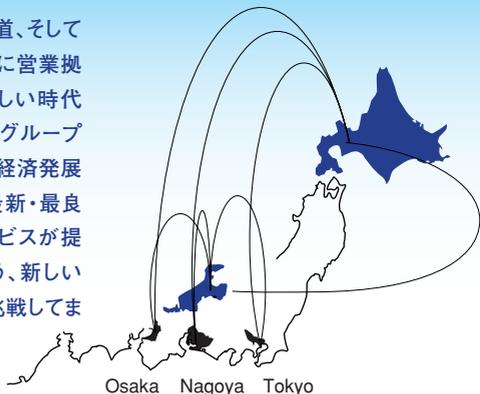
経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、健全経営のもと、広域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、営業地域のお客さまの安心と繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

- 地域共栄
▶
社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
- 公正堅実
▶
公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
- 進取創造
▶
創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

Hokuhoku Network

北陸と北海道、そして三大都市圏に営業拠点を持つ新しい時代の広域金融グループとして、地域経済発展のために、最新・最良の金融サービスが提供できるよう、新しいビジネスに挑戦してまいります。



コーポレートマーク



垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。

ホームページのご案内

ほくほくフィナンシャルグループ <http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

ほくほくフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データやIR情報、そしてニュースリリースなど最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。



北陸銀行 <http://www.hokugin.co.jp/>

取扱商品・サービスやキャンペーンのお知らせから店舗やATM（コンビニATMを含む）の所在地・ご利用時間まで、さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しております。



北海道銀行 <http://www.hokkaidobank.co.jp/>

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。





株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報室

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel:011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>



本誌の印刷には、環境に配慮した植物性大豆油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。